



バーニディピサ「Bagni Di Pisa」は、1743年にトスカーナ大公のフランチェスコ・ステファノ・ディ・ロレーナの療養温泉地の館として建てられた。「Bagni di Pisa」とはイタリア語で、「ピサにある温泉」と言った意味で、ピサ市内からやや離れたこの地は温泉保養地として古くから知られていた。



バーニディピサの温泉施設「Terme Spa」の中心となる大浴場「Minerva Bath」の気品ある佇まい。スパ施設には「Diet & Medical Spa」も用意され「Italian Hospitality Collection」のメソッドを用いたメディカルスタッフが施術している



18世紀当時に描かれたオリジナルのフレスコ天井画が館内の至る所で保存され、クラシカルな雰囲気を感じるピサの名門SPAホテルである



スパ施設の屋上テラスは温水プールとなっており、キッズプログラムも用意されている



岩盤をくり抜いた洞窟風呂「La Grotta」は感動的で、スパのメニューに取り入れられている



夜間、幻想的にライトアップされた大浴場「Minerva Bath」。その他、塩分が強く身体がプカプカ浮く風呂など数タイプの温泉を用意している



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会常務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連連協会
アドバイザーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリアが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

Bagni di Pisa

バーニディピサ「Bagni Di Pisa」は、1743年にトスカーナ大公のフランチェスコ・ステファノ・ディ・ロレーナの療養温泉地の館として建てられた。18世紀当時に描かれたオリジナルのフレスコ天井画が館内の至る所で保存され、クラシカルな雰囲気が香るピサの名門SPAホテルだ。「Bagni Di Pisa」とはイタリア語で、「ピサにある温泉」と言った意味で、ピサ市内からやや離れたこの地は温泉保養地として古くから知られていた。背後のサンギリアーノ山の麓に佇むホテルは、施設内に温泉療養と健康を専門と

した有資格の療養士があり、洞窟風の温泉はスパメニューに取り入れられている。サンギリアーノ山に至る遊歩道の途中で古代の廃墟を模した跡があり、ここから望むピサの斜塔は印象的だ。ピサはイタリアのトスカーナ州にある都市で、この街の象徴的な存在である「ピサの斜塔」で殊更に有名だ。高さ56mの白い大理石で造られたこの円柱型の塔はドゥオモ広場にあり、ピサ大聖堂に付帯した鐘楼として建てられたが、1372年の完成時には既に傾斜していた。バーニディピサはLHWに加盟しており、その温泉施設「Terme Spa」は高い評価を得ている。建物中央にある大浴場「Minerva Bath」のほか、塩分が強く身体がプカプカ



メインダイニング「Ristorante dei Lorena」のディナー風景。ゲストが注文した肉料理をその場でさばき、取り分けてくれる



「Ristorante dei Lorena」専任スタッフのスマートなサービス。地元トスカーナの芳醇な料理を楽しむ



バーラウンジ「Bar Shelley」の優雅なテーブルセッティング



とくに天井に描かれたフレスコ画は一見の価値がある



館内の廊下は広く確保され、ゆったりとした時間が流れていく



バーニディピサの裏庭にあるテラス。夏季にはテラスレストラン「The Byron Court」がオープンする

浮く風呂まであり、岩盤をくり抜いた洞窟風呂「La Grotta」は感動的で是非体験して欲しい。

バーニディピサはスイート9室を含む全61室を擁し、ピサ郊外サンジュリアーノテルメの地に中世の館を彷彿させる姿で佇んでいる。今回はクラシカルなスイート「The Suite Granducaie」をご紹介します。約50㎡の広さを持ち、家具・調度品、絵画などすべてに歴史を感じさせる雰囲気である。メインダイニング「Ristorante dei Lorena」は地元トスカーナの芳醇な料理を楽しむ。夏季にはテラスレストラン「The Byron Court」もお勧めだ。バーラウンジ「Bar Shelley」は落ち着いたセッティングで、

特に天井に描かれたフレスコ画は一見の価値がある。前述したスパ施設には「Diet & Medical Spa」も用意され「Italian Hospitality Collection」のメソッドを用いたメディカルスタッフが施術している。

バーニディピサはピサ市内から車で15分、トスカーナ地方の田園地帯に佇み、周囲はのどかな風景が広がっている。トスカーナの歴史が刻み込まれた壮麗なフレスコ天井画と見事な眺望や充実したスパなど、心身ともにリラックスできるホテルだ。ピサの斜塔訪問の際は是非このホテルに泊まり、スパ施設を堪能することをお勧めしたい。



クラシカルなスイート「The Suite Granducaie」のベッドルーム。かなりの天井高がある約50㎡の広さを持つスイートで、窓辺のドレープカーテンやベッド上の天蓋カーテンなどエレガントな雰囲気である



ベッドルームのシッティングエリア。家具・調度品、絵画などすべてに歴史を感じさせる



温泉入浴に必要なガウンやスバグッツを入れる専用バッグが用意されている



客室のエントランスホワイエを兼ねたリビングルーム



バスルームは明るい開放的な空間で、使い勝手はすこぶる良い